



拓け！自らの可能性

進路だより 第1号

令和5年6月9日発行

～社会参加に向けて～

だて支援学校キャリア支援部

校長あいさつ



校長 本田知史

令和5年3月、日本中がワールドベースボールクラシックの熱戦に熱狂し、心奪われました。栗山監督の人柄、マネジメント力に現役メジャーリーガー、そして日本プロ野球のトップ選手が招集され、力を合わせて戦い抜きました。そこには日本人の母をもつ、セントルイスカージナルスのラズ・テイラー＝タツジ・ヌートバー選手も招集されました。ヌートバー選手は文字通り侍ジャパンのリードオフマンとして世界一に貢献し、大活躍を見せてくれました。ほとんど日本語を話せないヌートバー選手が海外のメディアに闘志を奮い立たす日本語は？と問われ「さあ、いこう」と答えました。

シンプルな言葉ですが、みんなで何かをするときに一気に集中できる言葉ではないでしょうか。特に「さあ」のことばは周りの人に呼び掛ける最適なことばだと思います。ひとりではない、周りの人と一緒に何かを成し遂げることは、本校の学校教育目標の「相手を思いやり協力できる人」にもつながっています。「さあ、いこう」、短い言葉ではありますがみんなで何かをするときに力（パワー）が湧き出ます。

開校初年度同様、2年目も、キャリア支援部では精力的に関係先訪問を実施し、伊達地域の企業、福祉事業所、行政機関等と連携を密にします。子どもたちの進路、夢、希望、笑顔のため保護者の皆様と協力しながらキャリア教育を進めて参ります。今後ともよろしく願いいたします。

高等部産業現場等における実習が始まります

高等部主事 香取里美

新入生12名を迎え、高等部の生徒数が36名となりました。人数が増えたこともあり、昨年より活気があるように感じられます。衣替えの6月となり、いよいよ「前期産業現場等における実習」が始まります。今年度は6月19日（月）～30日（金）までの10日間です。1年生を中心とした校内での実習と、2、3年生を中心とした校外での実習になります。

校内での実習は、ソーシャルサービス班、フルーツキャップ班の活動となります。また、校外での実習は、2、3年生が企業や福祉サービス事業所の御協力のもと、10社の企業と9か所の福祉サービス事業所で実習を実施させていただく予定です。

産業現場等における実習を通して、働くことや生活することの大切さを学ぶとともに、自分の適性や課題を改めて確認し、自立と社会参加を目指した適切な進路選択ができるようにします。

保護者の皆様には、お子様の進路実現に向け、お子様本人が自己選択、自己決定できますよう励ましの言葉や実習に際しましての御協力をお願いいたします。

作業学習紹介

< 中学部 >

今年度、中学部では校庭に作られた畑を中心にした農園芸活動を全員で行っています。畑の石拾いや土の入れ替え作業などの土壌整備と改良に全員で取り組みました。植え付けた作物は、昨年同様のトマト、ピーマン、ナス、さらに今年度コメリ様からいただいた苗を植え付けしました。3月に植え付けしたジャガイモの収穫も楽しみです。

また、木工では昨年度同様にフラワースタンドの製作に励んでいます。あいさつや報告、仲間との協力などをキーワードにして、丁寧な作業と安全に心がけながら作業学習に取り組んでいます。紙工では、かごと油取りパック作りを行っています。今年度の作業製品販売会に是非お越しください。



< 高等部 >

だて支援学校高等部では、将来の職業生活や社会生活を見据え、地域社会と繋がり、地域社会へ貢献できる作業学習を目指し学習を展開しています。

クリエイティブサービス班では、主に革工製品、手工芸製品の製作を行っています。使いやすさ、オリジナル性などについて意見を出し合いながら、製品開発に取り組み、一つ一つ丁寧に仕上げています。革製品では、伊達地区ならではの材料として、駆除されたイノシシの革を使い、製品の開発に取り組んでいます。また、伊達地区の特産品である桃やイチゴなどをデザインに活用したりして、楽しみながら作業に取り組むことで、生徒の意欲を高めることができるような学習を行っています。

アクティブサービス班では、清掃作業、農園芸作業にわかれてそれぞれ取り組んでいます。専門的な用具を使った清掃作業、花や野菜となる農作物の育成や管理を行うこと農園芸作業を通して、指示理解や報告・連絡・相談などの力を高めています。また、地域連携事業として、昨年度は保原総合公園内の広場やほばら大泉球場、フットボール場の清掃を行いました。清掃や緑化作業を通して、人とのかかわりを広げながら、地域へ貢献する資質能力を身に付けることを目指しています。

今後、販売会等の活動も計画していく予定です。その際には、多くの方に製品等を通して高等部生徒と関わっていただければと思います。よろしくお願いします。



先輩の話を聞く会 に参加して

5月25日(木)に「先輩の話を聞く会」を開催しました。高等部、中学部3年生の生徒と保護者の方に参加していただきました。

高等部 2年1組 K・T

5月25日に行われた「先輩の話を聞く会」では、今後の実習などで役に立つ話、参考になる話が聞けると思い楽しみにしていました。

まず中野大樹先輩の話では、就職までの気持ちを話してくれたことが印象に残りました。先輩も就職が決まるまでは不安でいっぱいだったと話されており、自分もこれからの実習で就職を決めていかなければいけないため、同じように不安を感じているため一緒だなと印象に残りました。少し安心しました。また「一度間違えたことをほったらかしにしないで、報告・相談するなどを徹底し繰り返さないように努力する」という言葉が印象的でした。私も今後の実習などで、先輩のアドバイスを思い出して、実践していきたいと思いました。

次に高橋良太先輩の話では就職が決まった時の「嬉しさ・やる気」を話していただいたことが印象的でした。「ポネールのみんなど早く仲良くなって頑張りたい」という気持ちに共感しました。私も実習で早く仕事を覚えて、先輩たちに認められ仲良くなりたいです。2つ目は「朝のあいさつや帰りのあいさつなどをきちんとできるようにしてほしい」というアドバイスです。先輩の言葉を大切に、実習先でもあいさつや返事など明るくできるように努力しようと思いました。

今回の会では、これからの実習に生かせることばかりでした。また実習を頑張ろうという気持ちが強くなりました。仕事をする楽しさを感じられるように頑張りたいです。先輩方にあらためて感謝します。ありがとうございました。



「先輩の話を聞く会」には、小学部から高等部まで多くの保護者の方にお越しいただきました。保護者の方々よりたくさんのご感想をお寄せいただきましたので、一部紹介させていただきます。

○実際に働いている先輩の様子を知ることができ、具体的なイメージを持ってました。今後の事業所見学や実習先を考える上で参考にさせていただきます。ありがとうございました。

○まずは来てよかったと感じました。在学時に頑張っていたことがその後の就労に大いに活かされる様子がよくわかりました。

○動画を使用して仕事の紹介をしてもらえたので子供たちも理解しやすかったと思います。基本的な挨拶、上司への報告・連絡・相談など、就労にあたって、今から我が子に伝えていきたいと思いました。

お忙しいところ本当にありがとうございました。児童生徒がよりよい未来に向かって進んでいけるように、ご家庭と連携していきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願いたします。

「拓け!自らの可能性 ～社会参加に向けて～」

本校では、将来の自立と社会参加を目指すために、「自己理解」「自己選択・自己決定」「自己表現」の経験を重ねることで、『自らの進路を自らで考える力』を高められるように、一人一人に応じた適切なキャリア教育の充実に努めていきます。また、生徒一人一人の進路実現のために、学校、家庭、関係機関と連携しながら進路指導を進めていきたいと考えております。

進路希望調査は、4、5月に、高等部全学年の生徒について実施、6月に小学部5、6年生、中学部全学年を対象に実施します。7月上旬に高等部2、3年生につきましては、第2回の調査を行う予定です。保護者の皆さま、御協力よろしくお願いいたします。

進路に関する情報収集の場として、「保護者進路研修会」、「進路座談会」、「年金セミナー」などを開催していく予定ですので、ぜひ御参加ください。また、事務室前の掲示板に、各事業所案内などの進路に関わる情報を随時、掲示しておりますので、進路を考える際などに参考にご覧ください。

職員室には進路担当者がいますので、御質問などありましたら、どうぞお気軽にお立ち寄りいただければと思います。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

キャリア支援部 進路指導主事 江田 綾

高等部進路希望調査の集計結果から

高等部第1回進路希望状況(全36名)

希望内容	1年	2年	3年	合計希望数	希望率(%)
進学	0	0	0	0	0
企業就職	2	6	4	12	33.3
福祉就労	2	3	5	10	27.8
どのような進路を選択するか考慮中	8	3	2	13	36.1
その他	0	1	0	1	2.8
未定・無回答	0	0	0	0	0

新規福祉サービス事業所情報

施設事業所名 サービス種別	住所・電話番号	作業内容・活動内容
社会福祉法人ひろせ福祉会 インクルーシブたかこ 多機能型事業所(生活介護・就労支援B型)	伊達市保原町高子岡238 024-572-3755	歩行訓練、自由活動、リサイクル作業等
NPO法人 Sosora garden モンステラ 多機能型事業所(就労継続支援B型、自立訓練(生活訓練))	伊達市保原町6-19-1 024-573-9250	調理作業(ベビーカステラの生地作り等)、弁当販売の準備等

